

平成30年度 健康保険組合 全国大会

平成30年度の健康保険組合全国大会が10月23日、東京千代田区の東京国際フォーラムで開催されました。大会のテーマを「STOP現役世代の負担増!改革の先送りは許さない」とし、サブタイトルには「事業主・加入者と連携し「健康」「安心」そして皆保険を守り抜く」を掲げ、健保組合関係者ら約4,000人が参集。4つの大会スローガンにもとづく決議を健保組合関係者の総意として採択しました。

今秋は例年になく、医療保険制度に関する報道が多く見られました。約50万人が加入する大規模健保組合が9月21日に、今年度末の解散を決定したと報じられたのを皮切りに、医療費の増大など制度の根幹を揺るがす実態が多く紹介されました。大規模健保組合の解散理由は高齢者医療を支える拠出金の負担増による財政の悪化でした。健保連は29年度の健保組合の決算見込みで、保険料収入の増加分を上回る拠出金の負担増により、健保組合全体の経常黒字は4割減、赤字組合は39組合増の580組合(全組合の4割強)となり、1年間で12組合が解散したことを明らかにしました。まさに危惧されてきた皆保険制度の崩壊が現実味を増してきています。私たちに求められているのは、少子高齢化に伴うさまざまな問題から目を背けず、自分の問題として捉えることです。誰もが安心して暮らせる活力ある社会を実現するため、皆保険をどう維持していくか、国民全体で議論を深めることが大切なのです。全国の健保組合が一致して取り組む制度改革に向けた活動に、ぜひ声援をお願いします。

健康保険組合全国大会スローガン(決議事項)

1. 拠出金負担に50%の上限、現役世代の負担に歯止めを
2. 高齢者の2割負担など負担構造改革早期実現
3. 実効ある医療費適正化対策の確実な実施
4. 保健事業の推進による健康寿命と社会保障の支え手の確保を

＼健康保険のみらいをみんなでつくる／

あしたの健保プロジェクト

あしたの健保



www.ashiken-p.jp

あしたの健保プロジェクト特設Webサイトでは、一人ひとりができる医療費適正化「できることアクション」を紹介中です。ぜひご覧ください。